

卒業生紹介

メキシコと日本の文化の架け橋に！

～ダンスと紙芝居のスペシャリストとして～



Yokoo Sakiko
横尾 咲子

メキシコ文化庁 契約アーティスト
NPO法人手をつなぐメキシコと日本 理事長

2002年 お茶の水女子大学文教育学部芸術・表現行動学科 卒業
2002年 同大学院人間文化研究科博士前期課程入学
2003年12月～2005年12月 海外青年協力隊員としてメキシコに赴任
2006年9月 お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士前期課程修了
2006年10月～2007年3月 お茶の水女子大学にアカデミック・アシスタントとして勤務
2007年4月～2011年 GAコンサルタンツ株式会社に勤務
2011年～ メキシコへ移住
現在、メキシコ文化庁アーティストとしてメキシコ各地で乳幼児を対象とする表現活動に従事。
NPO法人手をつなぐメキシコと日本 理事長。3児の母。

山形からお茶大、そしてメキシコへ

山形県東根市出身で、元々、舞踊、特に生活に根ざした民俗舞踊に興味があり、また新聞でみたダンスセラピーの記事に興味をもったことから、舞踊教育学コースへ進学しました。大学院進学後は、ダンスセラピーに関する文献を読む日々でしたが、理論に偏る研究論文に疑問を感じ、実践の場を求めていた頃、メキシコで、統合教育現場における体育教員の枠があることを知り応募しました。2年間、メキシコの小学校5校を巡回し、身体表現教育に従事しました。また赴任中に、メキシコ教育省に勤めていた現在の夫と出会いました。大学院を休学して協力隊に参加していたため、任務終了後、インクルーシブ教育現場における表現活動の教育的意義というテーマで修士論文を提出しました。

ベンチャー企業に就職するも、再び夫の母国であるメキシコへ家族で移住

本学大学院修了後、ベトナムを中心としたビジネスコンサルティングを手がける企業に総合職として就職しました。その頃、日本に留学してきた現在の夫と結婚しました。長女を出産後、第2子妊娠をきっかけにメキシコ移住

を考え始め、2011年、国際交流基金助成による「紙芝居ワークショップ」企画とともに、夫の母国へ家族4人で移住しました。

こちらではメキシコ文化庁の契約アーティストとして、乳幼児を主な対象にダンスや紙芝居の活動を各地で行っています。また「NPO法人手をつなぐメキシコと日本」を立ち上げ、日本の舞台芸術や、合気道、美術、食文化等をメキシコに紹介する活動を精力的に行っています。故郷山形の山伏とウィチョール族の祈禱師による、日墨シャーマニズム交流企画など、独自性の高い事業を目指しています。来年3月には、地元山形県東根市の公益複合文化施設まなびあテラスで「メキシカンひなまつり」を開催します。在住するミチョアカン州の女性手工芸職人たちに、日本の「ひな祭り」にインスピレーションを受けたオリジナル作品を創作してもらい、その展示を行う予定です。また、同施設にて中高生を公募し、戦争調査から紙芝居を創作・発表するワークショップ「平和紙芝居プロジェクト」も準備中です。

メキシコ在住の立場から考える日本とメキシコ、それぞれの良さ

日本は四季の変化があり、そうした自然が育む日本伝統の素晴らしさを離れてみて尚

更実感します。一方で、そうした伝統芸能に、積極的に現代的な感覚を取り入れるところも、日本文化の素晴らしさだと思います。一方、メキシコは日本に比べると働きながら女性が子育てしやすい国と感じます。また、メキシコでは家族の繋がりが強く、人々がたくましく暮らし、幸福感が強い国だと感じます。

恩師の言葉から考えるお茶大生へのメッセージ

高校時代の2人の恩師の言葉が印象に残っています。世界史の先生には、「自分の足で歩いて、世界をつぶさに見なさい」と言われ、大学時代はバックパッカーでアジアや中東を歩き回り、また卒業論文のフィールドワークのためにエジプトまで足を運びました。違って面白い、違いを認め合って世界はもっと仲良くなれるはずだ、と肌で感じたことが、最大の旅の収穫でした。数学の恩師には、「数十年後、今日本にある職業の半分はなくなるだろうから、自分を見極め、手に職をもちなさい」と言われました。手に職があれば、子どもを産み育てながらでも自分の仕事を続け、深めていくことができます。実際、今メキシコで、「身体表現」と「紙芝居」という私だけの芸(スキル)が自分の生活を支えています。お茶大生にも、情報や周りに流されずに物事を見ることで、自分自身を探索し、自分にしかできないスキルを身につけることを大切にしてほしいです。

文責：基幹研究院人文科学系教授
水村 真由美

コラム

今年は、メキシコに初めて日本人が渡った榎本植民団の入植から120周年、来年は日墨修好通商条約締結から130周年という記念の年となる。その年に、日本のコンテンポラリーダンスをメキシコに招聘し、自らが山形県で文化イベントを行うという横尾さん。これからもアートで日本とメキシコがしっかり繋がる手としての美しい活躍が期待される。NPO法人手をつなぐメキシコと日本 <http://teotsunagu.tumblr.com/>